

報告します

委員会は今

産業建設常任委員会

問題山積み 早期解決に向け徹底議論

地域産業の動向は

県の指標は回復状況にある。自動車関連業は、回復傾向にあるが、町内においては未だ厳しい状況。

再就職活動にあたって、苦労された人が多くありハローワークとの密接な連携により、課題の解決を図る必要がある。

●現地調査

工事現場の状況は

町道の改良工事の安田徳市・江之河内本線と、災害復旧工事現場2箇所を視察。陳情案件の新川通り側溝の現地確認、説明を受けた。改良工事の進捗状況は70%。災害復旧の現場は完了状態であった。

●事務調査

野積みにされた堆肥

県は2回の改善勧告。不法投棄対策班による巡回(週1回)による5回。委員会は生活環境を守る条例を議論し、早期制定を目指す。併せて業者に営業努力を促す。
宇津戸地区臭気公害



アップルロード災害復旧現場を視察

総務文教常任委員会

統合目前

子どもたちの教育環境を…

●現地調査

町内の交通体系は

デマンド交通(せらまちタクシー)は、利用者が金曜日に多くあり2百件を超える日もある。その他、町内にはバス路線が9路線あるが過疎化が進み不採算路線の廃止など危惧される。今後どう住民の交通手段を確保していくのが課題。

福祉の現状は

サンシャインせらは、入所者が介護度4~5の方が60~70%。認知症など重度のケア

が問題化していた。

在宅介護も重度化し、生活が難しくなるケースもある。地域の支え合いが必要とされている。

●事務調査

小学校統合計画・ 教育環境は

統廃合される小学校の統合計画について調査。

統合時に30人を超える学級数は3校で6クラスある。

対策として、状況に応じた最善の指導方法を学校に選択させ、そ



サンシャイン施設見学

の学校に対し臨時的任用教員(4~5名)の加配措置や、少人数指導に適した施設の確保をする。

進捗状況は、現在、校章・校歌を公募中。制服制を導入する。委員会では、統合に関し諸問題が山積しており、今後も調査する。

尾道松江線調査特別委員会

インター北側を円満解決

事業の進捗状況は

赤屋工区で工事が遅れているが盛土などは現在順調に進んでいる。

これからの取組み

インターチェンジ以北側の未契約用地が8件あり、うち1件は土地収用法が告示され、任意交渉を継続しつつ、国が手続きに入った。インターチェンジの

名称は開通年月日の確定時に決定する。

農業振興地域除外

IC付近の土地利用は、農業振興地域指定エリアを、H23年度計画見直しで解除したい。法律が昨年12月に変わり一定の計画を持って除外申請しないと受付けてもらえない。利用可能な土地は計画構想を作り事前に外した方が、今後有利と考えられる。



まもなく開通尾道松江インター

公共下水道事業調査特別委員会

住民の意思確認を図る

加入促進・接続の状況

すでに供用開始した区域内は申請者以外の方家庭を戸別訪問して接続のお願いをしている。

住民説明会の意見

- 高齢者世帯の年金暮らしにとって接続は負担増である。
- 家が密集していて工事が高額。配管するのに困難な状況にある。
- 認可区域はどうしても接続しないといけないか。



公共下水道アクアステーション

委員から質問

- 他にも色々な意見がなされたが、多くは高額な負担金・費用への質問であった。
- H22年3月1日までの申請件数は、一般家庭63戸・事業者4者・アパート2棟・甲山中学校・甲山文化センターの合計71件。
- Q** 加入把握し工事をすべきだ。
- A** 高齢者への調査はしていない。枡を設置した所から促進してきた。

Q 企業経営として莫大な投資。説明手順に問題があるのでは。

A 根拠のある事前調査の資料が必要。測量設計により加入率の判断となる。

Q 独立した企業体として意識し仕事をすべき。

A 事業は基本的には町が責任をもつてやる。

物品購入等調査特別委員会

導入に疑義

各公共施設でのコピー機のレンタル、更新に関して、競争原理と公正な競争がなされていない事実が発覚した。その事を重く受け止め、議会として調査の必要性があると判断。特別委員会を設置し調査する事とした。



高機能コピー機の導入